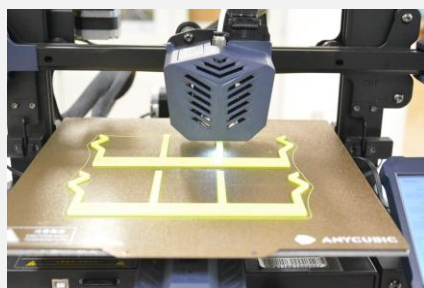


臨床現場で使える3Dプリンタの活用法

- ・ この講座は、3Dプリンタを活用した自由なモノづくりや臨床現場での活用の可能性を知ってもらうことが目的です。
- ・ パソコンで3Dデータを作り、印刷までの、基本的な内容からモノづくりまでの流れを体験していただきます。

①3Dプリンタを知る



3Dプリンタの基礎と、臨床での活用可能性を理解

②3Dデータ設計



対象者に合わせた自助具の3Dデータ設計を体験

③3Dプリンタで印刷



自分で設計したペットボトルオープナーを実際に出力・評価

■ 講座で得られること

- 臨床現場での具体的な活用方法や導入プロセスが分かる
- 対象者に合わせた自助具設計の考え方が身につく
- 3Dプリンタを活用した自由なモノづくりの可能性を知る
- リハビリ分野での実践事例を知る
- 実際の臨床事例をもとに自助具の提案を体験できる

開催日時: 2026年 9月 8日(火)13:00~17:00

会場: 埼玉県立大学 北棟147(基礎作業学実習室)

対象者: 3Dプリンタに興味のある卒業生・医療福祉関連職種の方

募集人数: 15名(応募者多数の場合は抽選)

受講料: 卒業生:無料
上記以外:1,500円(税込)

講師: 作業療法学科 小池祐士、押野修司、田坂翔太

応募方法: 右記2次元コードより、必要事項を記入

応募締切: 2026年8月25日(火)

問合せ先: 埼玉県立大学地域連携センター

オープンカレッジ講座事務局

TEL:048-973-4114 E-mail:edec@spu.ac.jp

